



レンタル収納スペース推進協議会
代表理事
吉田 健生氏

国内最大級の収納ビジネスイベント

11月6〜8日に施設見学会とフォーラムを開催

催される。レンタル収納スペース推進協議会(東京都渋谷区、RSA)主催による、2015年からは続く業界最大級のイベント。今年で10回目を数え、既に業界では定例となっている。3日間の内、2日間は会場を借りてフォーラムを開催。残り1日は、

フォーラム1日目の午前中には、SSAAエグゼクティブディレクターのAndrew Work氏が登場し「アジアのセルフストレージビジネスの話」を講演する。午後にはパネルディスカッションとして、「海外セルフトレージへの投資から見える日本セ

ルフトレージ投資の魅力と課題」を行う。モデレーターはシービーアールイー(東京都千代田区)バリエーション・アドバイザーのサニース・シニアデイレクターの空拓氏が務める。パネリストにStorHubグループ(東京都千代田区)日本投資事業 投資責任者のイハオ氏、ストレージ王(千葉県市川市)常務執行役員・開発部長兼経営企画室長の佐藤芳紀氏、エリア

午前中に国際ジャーナリストの春名幹男氏が単独セミナー「次期アメリカ大統領選で世界はどう動く」を講演する。午後にはハーストリイ代表取締役日野佳恵子氏による「女性に支持されるトランクルーム戦略」の講演、更に

国内におけるトランクルーム需要は右肩上がりでありながら人口減少は進んでおり、今後潜在的ニーズの掘り起こしも必要となるでしょう。不動産業界における『潜在的ニーズの掘り起こし』にも関連したフォーラムになりま

い、RSAの会員や交流・情報交換を求める企業も増加している。海外の投資家は日本のトランクルームが魅力的な投資対象と見ており、特に大型施設(1棟5億ほど)を求めている。国内の企業、特にデベロッパーの中には彼ら投資家から融資してもらった施設の建設を検討している動きもあるとのこと。今年も海外の業者がフォーラムに参加し、日本のトランクルーム業界をどの様に見ているのか生の声を聞くことができる。投資対象としてトランクルームを検討している不動産事業者は参加を勧める。

SUUMO住み続けたい街ランキング

2024 首都圏版 1~10位

順位	駅名	評価点
1	みなとみらい	89.18
2	馬車道	88.03
3	北参道	87.27
4	浜町	86.71
5	東銀座	86.67
6	三越前	86.60
7	鶴沼	86.46
8	湘南江の島	86.18
9	半蔵門	86.15
10	戸越公園	86.01

「24」の首者階層を表現した。ランキングの対象となったのは、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県(以下1都4県)の夜間人口上位1000駅または乗

て1者4県に所在する自治体の中で、1次調査で30人以上の有効回答が得られた283自治体。1都4県に居住する20歳以上の男女(1次調査:31万7222人、2次調査5万

調査の結果「住み続けたい街」ランキング2024「第1位に選ばれたのはみなとみらい」「2位には馬車道」「3位にはみなとみらい線」の主力駅がトップを飾った。両駅はいろいろな場所から電車・バス移動で行きやすい「雰囲気やセンスのいい飲食店や個人商店がある」など「住んでいる街の魅力」40項目のうち13項目で1位を獲得。「Kアリーナ横浜」をはじめ再開発トピックスへ

また「家賃が手ごろで満足度が高い」住み続けたい街ランキング2024「第1位に東京都の市部版では南武線の「谷保」が1位を獲得。「立川」と「府中本町」の間に位置する「谷保」は自然豊かな立地が特徴で、昨今は官民連携による町おこしやシェアキッチン・シェア店舗なども開業している。文教地区の「国立」から約2kmで家賃相場は10~1万円、国立の約半分というコストパフォーマンスも評価につながった。

ついで、SUUMO編集長の笠松美香氏は「首都圏全体で家賃相場が上がっていますし、物件の価格も上昇しています。賃貸においては都心部の方がその傾向が顕著です。実際に継続して住んでもオーナーさんから家賃の値上げを交渉される方も増えています。が、ターミナル駅を離れるだけでぐっと安くなる。こうした視点も持ち合わせていれば、自分に合った街を見つければいいのでは」と語った。

リンク(東京都千代田区)取締役・ストレージ本部長、カスタマーコンタクト部長兼人事部長の西澤実氏、北京・上海で5店運営するYOUR STOR AGE(中国)Directorの傅立氏が集まった。その他に単独セミナーやプレゼンテーションも開催する。

フォーラム2日目は午前中に国際ジャーナリストの春名幹男氏が単独セミナー「次期アメリカ大統領選で世界はどう動く」を講演する。午後にはハーストリイ代表取締役日野佳恵子氏による「女性に支持されるトランクルーム戦略」の講演、更に

同業界の成長に伴い、RSAの会員や交流・情報交換を求める企業も増加している。海外の投資家は日本のトランクルームが魅力的な投資対象と見ており、特に大型施設(1棟5億ほど)を求めている。国内の企業、特にデベロッパーの中には彼ら投資家から融資してもらった施設の建設を検討している動きもあるとのこと。今年も海外の業者がフォーラムに参加し、日本のトランクルーム業界をどの様に見ているのか生の声を聞くことができる。投資対象としてトランクルームを検討している不動産事業者は参加を勧める。